

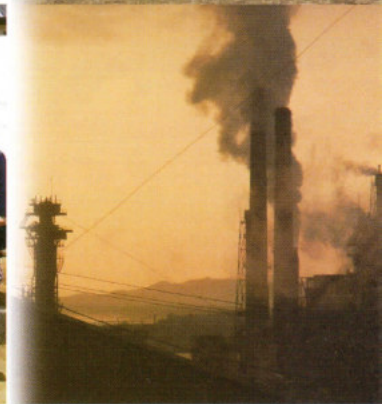
震災直後から寄り合っ暮しはじめた人びとが、失われた地に
「新しいコミュニティ」をつくりだすプロセスを見つめる
長篇ドキュメンタリー映画

まだ見ぬまちへ

石巻・小さなコミュニティの物語

浦和特別上映会

震災前のこの地域にはどんな暮らしがあったのか。住民が語る“わがまち”の記憶。



青池憲司 監督作品



7月28日(土) 浦和コミュニティセンター 9F 第15集会室

第1回 14:00上映(13:40開場)
16:30トーク(40分)
作山康(芝浦工業大学環境システム学科教授) + 青池憲司(本作品監督)

作山康: 専門は都市計画、アーバンデザイン、区画整理、岩手県大船渡市越喜来・泊地区の復興まちづくり支援、「サテライトラボ上尾」で高齢化社会対応まちづくりの教育・研究、コミュニティデザインの実践を行っている。

第2回 18:00上映(17:40開場)
20:30トーク(20分) 参加者 + 青池憲司(本作品監督)

浦和コミュニティセンター
9F 第15集会室
(JR「浦和」東口駅前)
さいたま市浦和区東高砂町11-1
TEL.048-887-6565

【料金】 一般 …… ¥1,500
学生 …… ¥1,000
高校生以下 …… ¥500



【主催/お問い合わせ】 NPO法人ヒューマンシップコミュニティ E-mail:sanoyuu2000@yahoo.co.jp TEL:090-4950-4376

震災後に門脇小学校映画二部作『津波のあとの時間割』『3月11日を生きて』 を発表した青池憲司監督の石巻映画第3作。



この映画は、地震と津波で壊滅的な被害を受けた、宮城県石巻市門脇・南浜・雲雀野地区の「人とコミュニティの再生」を6年半にわたって記録した作品です。

映画は人びとの、コミュニティづくりのプロセスを見つめます。居住環境が整わない地域の暮らしをどう生きるか？ 高齢者のケアは？ 新しい住民とのコミュニケーションは？ かたちが見えてきたまちへの期待と不安？

映画は、3月11日以前の地域の姿も見つめます。震災前のこのまちにはどんな暮らしがあったのか。住民が紡ぐ“わがまち”の記憶。

本作品は、一被災地の非常時のコミュニティ活動の記録であるとともに、そのテーマは、ふだんの地域社会づくりに通じる普遍性をもっています。

門脇町・南浜町・雲雀野町について

東日本大震災以前の3町は、住宅、商店、小学校、保育所、事業所、病院などが混在するエリアでした。世帯数1772、人口4423人。津波で356人が亡くなり、142人が行方不明です。家屋の大破をまぬがれたのは10世帯のみ。門脇町2丁目～5丁目は土地区画整理事業で「新門脇地区」になります。事業面積23.7ヘクタールの区域に250戸分の宅地が整備され、復興公営住宅151戸と合わせて401世帯、人口1070人が想定されています。南浜町と雲雀野町は居住不可地区となり「石巻南浜津波復興祈念公園」が造られます。地区の東西を走る八間道路は幅37.5m、高さ3.5mの高盛土道路になり、その北側が新門脇地区、南側が復興祈念公園です。



主催/お問い合わせ

NPO法人ヒューマンシップコミュニティ

E-mail : sanoyuu2000@yahoo.co.jp TEL : 090-4950-4376

後援

埼玉県 さいたま市 埼玉県社会福祉協議会

さいたま市社会福祉協議会 埼玉県女性薬剤師会

『まだ見ぬまちへ～石巻・小さなコミュニティの物語～』

(上映時間145分 Blu-ray/DVD)

製作：映画「まだ見ぬまちへ」の会/青池組

監督/製作=青池憲司

撮影=一之瀬正史 編集/構成=村本勝

整音/録音=黄永昌 撮影/録音=山田武典

音楽=原公一郎 語り=黒田福美

公式サイト：<https://aoikegumi.shinsaihatsu.com/madaminumachie/>

Facebook：<http://www.facebook.com/aoikegumi>

製作協力：いしのまき 記録映画づくりを応援する会

公式サイト <https://www.ishinomakieiga-ouen.com/>